

第 65 号

発行所 〒157-8560

東京都世田谷区成城 1-13-1

東京都市大学附属中学校・高等学校内

電話 03-3415-0104

発行責任者 安藤 友二

編集責任者 清水 茂



東京都市大学附属中学校・高等学校〈同窓会ホームページ〉

<http://tcu-kasiwa.org/>

今までは、本校卒業生の皆様との唯一の連絡媒体として当会報「柏」の発行(年2回)をしていましたが、これからはHPからのご案内並びに通信となりますので会員登録を必ずお願いいたします。

VUCA ワールド

東京都市大学附属中学校・高等学校 校長
同窓会 名誉会長

小野 正人



人間が変えられないものと、変えられるものがあります。それは「過去」と「未来」です。

本校は卒業生の方々の功績があって今日があります、そして校名が変わり新たな息吹が新しい生徒たちによって吹き

込まれ大きく変化してきました。

現代社会を「VUCA ワールド」と称することがあるようです。Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字 VUCA をつなぎ合わせた予測不能な時代ということです。冷戦終結以降のグローバル化に対して、イギリスの EU 離脱、トランプ大統領誕生など一国主義・分断主義への大きなパラダイム転換はその象徴的な出来事でしょう。

一方、その予測不能な中で確実に思われるのは、人工知能が人間の能力を超える Singularity の到来という人類にとって皮肉な事態なのです。その到来時機は識者によって異なりますが 2030 年から 2045 年と予想されています。いずれにしても現在在籍している生徒たちが社会に出て活躍する頃にやってくるのは「確実」です。

また、それと同時にやってくるのは人工知能やロボットが人間の仕事を奪うということを意味します。これもまた、様々な論議があるようですが、オックスフォード大学の AI 研究者 マイケル・A・オズボーン 准教授が発表した論文は衝撃的なものでした。氏によると、アメリカの労働市場における仕事の 47% が近い将来、人工知能もしくはロボット代替可能だ

ということです。野村総研では日本の労働人口の 49% が代替可能と試算しています。その職種はレジ係から銀行の窓口担当者まで多種多様です。他方で、奪われない仕事として芸術家を筆頭にクリエイティブな職業をあげる向きがあります。しかし、果たしてそうでしょうか。これまでの芸術の膨大なデータを集積分析し、個人の嗜好に適合する最適なものを創り出すことが AI に不可能だと断言できるでしょうか? SF では全能の神ですら実態は AI であったという世界が以前から描かれているように思います。

私たちは、私たちの子どもたちは果たして人工知能に負けないものを持っているのでしょうか。

さて、今年の 2 月の弁論大会は「国籍ってなんだろう」を題とした中学 2 年生が昨年に続き最優秀賞に選ばれました。日韓の負の歴史がもたらす軋みの中、やがて国籍選択を迫られる困難を抱えながら未来を凜然と見つめている姿に心打たれました。他にも例年に無いほど優劣付けがたい秀逸な弁論が数多くありました。その中で、弁論の域を越えたその語り内容の深さと重さ故、聴衆である中 1 中 2 の心をどれだけ動かすものかと正直思っていました。どこかで生徒たちの感性を軽んじていたのかも知れなかったと、投票結果を知り自らを戒しめることとなりました。重いテーマを受け止め、共感し選出した多くの生徒たちに改めて敬意を表すと共に、誇りにしたいと思います。

「夢は未だ決まっていなくても世界の紛争解決の為に働きたい」「発展途上国の困っている人の役に立つ仕事がしたい」。昨年の 4 月以来中 1 の生徒たちと校長室でカレーを食べながら誕生会を開き、一人ひとりから夢を聞かせて貰っています。多くの子どもたちが夢が何であれ、「人のために役に立ちたい」と語ってくれたことに驚かされました。自分が 13 歳の頃そんなことを考えていたかと思わず我が身を振り返った一年でした。

どうでしょうか? 未来は暗くないような気がします。こういう生徒たちが未来を担うのだ、明るい未来を切り拓いていくのだと頼もしくなりました。

またこのような素晴らしい後輩たちを日頃導いてくださる同窓会の皆様にも心より御礼申し上げます。どうか今の母校を訪ね後輩たちに声を懸けていただき励ましていただきたくお願い致します。

第59回柏苑祭「同窓会賞」(90回)に “中高エレクトロニクス研究部” 栄冠に輝く

毎年の「柏苑祭」では恒例となった『同窓会賞』の発表が10月1日(日曜日・柏苑祭2日目)15時から行なわれた。

展示部門から選考基準として真摯に研究内容に取

り組まれているか、又、研究内容をさらに深く掘り下げているか等々を審査して上記研究部が第52回柏苑祭に

(平成22年秋)に引き続き、2度目の栄冠に輝きました。おめでとうございます。今後の研究にも力を注いで下さい。



会長より中高エレクトロニクス研究部にトロフィーと賞状を授与

寄稿〈柏苑祭「退職先生の最終講義」〉



伝えたいこと

化学・生物科 柿下 良治

今年の柏苑祭において講演の依頼があり、お引き受けし同窓会の展示室にて講話しながら、在職していた頃のことの思い出を回想していました。

当初、化学を担当していましたが、当時、教頭の菊池先生に付きまとい、校庭の木々の剪定などをしたのが縁で、生物科に代えられました。しかし、私にとってはとても楽しい時間を送らせてもらう事となりました。

本校での思い出の中では、体験学習の思い出が沢山あります。体験学習に伴ったお手伝いとしては、生徒達と同じ時間を共有出来たことで、とても感謝しています。講演でも触れましたが、長野県上田市武石(タケシ)の一人暮らしの老婦人が話されたことが、今でも心に残っています。「この辺も鹿が増えて畑を荒らしに来るので、防御ネットを修理したいのですが、私では何もできません。生徒さん達が来られるのを、今か今かと首を長くして待っていたんです。生徒さん達は“休んでいてください”と言ってくれ、もう少しもう少しと言いながら、期待していた以上のネットを作ってくれました。有り難い生徒さんたちです。」と喜んで話してくれました。

その言葉から本当に生徒達への感謝の気持ちが込められていることに心を動かされました。今でもその日のことを思い出します。

岩手県松尾村での体験学習のこと、農場へ行った班の生徒達が宿舎に戻ってきて興奮した様子で話すには、「農場で牛の出産があり、僕たちも産まれてくる仔牛の足をみんなで引っぱり、仔牛が産まれたんだ。産まれた牛を見て興奮したよ。」と、周りの班の生徒達に自慢げに話していました。今でも、立ち会った生徒達の心の中には体験学習の思い出が熟成し、赤々と燃え続けているのではないのでしょうか。

私にも心に残る光景があります。岩手県田野畑村で、一日の体験学習が終わり入浴時間になりました。浴室を覗くと、多くの生徒が洗い場で震えながら自分の入浴する順番を裸で待っていました。その時、私は中一の林間学校で事前説明会の折り、「沢山の人が利用する風呂では体を洗い流してから入り、後から入る人達にも気づかって気持ちよく湯船に入ってもらいたいものですね」とお願いしていました。

中一の林間学校では風呂場から出てきてスッポンのままで私の前に立ち、当たり前のように「拭いてくれ」という生徒が何人もいて、仕方ない子供達だと思っていましたが、中三になっていた彼らは、私が中一でお願いしたことを忘れずに、楽しそうに順番を待ちながら震えながら待っている姿に心を打たれました。私は「林間学校」・「体験学習」・「臨海学校」で何時も公共の場所でもある風呂での入浴の担当をして来たのですが、その都度、今までの仕事が報われたように思うのです。生徒達には感謝するとともに、有り難い生徒達だと思いつつ同時に私のための「体験学習」でもありました。

在校生も楽しい「体験学習」を享受し、有意義な学校生活を沢山経験して、旅立ってもらいたいと思っています。



総会で。先生方・理事・懇親会での演奏者



総会後の懇親会で“成人の祝い”

第42回 総会報告

■日時：2017年5月13日(土) 16:00~16:20

■場所：渋谷 エクセルホテル東急 6階フォレストルーム

総会では次の4議案の審議と報告とが行われ、承認事項は全て原案通り承認された。総会后、約90名が出席して懇親会と62期生の成人の祝いとが行われた。

2016年度(2016年4月1日~2017年3月31日)活動報告

- 2016年5月28日(土) 同窓会総会を開催した。
- 会員の親睦を図るため、総会後の懇親会で還暦の祝い及び成人の祝いを実施した。
- 年2回機関紙「柏」(63号、64号)を発行した。(HPにも掲載)
- 母校の「柏苑祭」に参加し、同窓会賞を「中学3年の学年展示」に贈呈した。
- 清水理事所有の絵画の展示を行った。
- 母校の「キャリアスタディ」に協力した。
- 副島健介氏の講演会を実施した。

特別講演会「ハーバード大学で学んで面白かった事」

2016年11月13日(日) 場所：東京都市大学 二子玉川 夢キャンパス

2016年度(2016年4月1日~2017年3月31日)決算報告

一般会計報告(収入の部)

科目	予算額	決算額	内訳
入年会費	2,220,000	2,220,000	63期生222名
引継金	0	0	
キャリアスタディ	2,919,146	2,919,146	前期より
雑収入	1,300,000	1,300,000	
	500	144,233	預金利息、成人の祝い参加費(24名)
合計	6,439,646	6,583,379	

一般会計報告(支出の部)

科目	予算額	決算額	内訳
会議費	300,000	266,042	理事会7回
交通費	50,000	3,000	
総会費	50,000	78,584	会場費他
「柏」制作費	30,000	0	
通信費	65,000	37,921	柏63,64号(@82×439通)他
印刷費	280,000	286,307	柏63,64号各1,200、900部他
発送アルバイト費	10,000	9,000	柏63,64号(439通)
事務局費	30,000	26,808	
事務局活動費	70,000	48,000	
同窓会賞費	10,000	11,598	
小委員会費	200,000	291,200	
名簿整備費	50,000	0	
柏苑祭費	75,000	52,950	
HP制作費	100,000	35,100	
会員交流補助費	800,000	746,038	成人・還暦祝い
キャリアスタディ	1,300,000	1,302,547	
特別講演会費	400,000	316,577	
予備費	100,000	71,631	
繰越金	2,519,646	3,000,076	
合計	6,439,646	6,583,379	

第41回総会決算報告

科目	収入額	支出額	内訳
会費	642,000		@6,000×107
一般会計から	791,818	1,326,484	
景品		107,334	
合計	1,433,818	1,433,818	

繰越金内訳	貯蓄預金口座	6,716円
	普通預金口座	2,821,153円
	郵便振替口座	174,878円
	現金	-2,671円
	合計	3,000,076円

上記の通り2016年度会計報告いたします。

2017年5月13日

会計 今井 章久
矢崎 克実

会計監査報告

前記、会計内容を監査の結果、正しく表示、記載されていることを認めます。

2017年5月13日

会計監査 長谷部 伸一

2017年度(2017年4月1日~2018年3月31日)活動計画

- 年1回同窓会総会を開催する。
- 年6回の理事会を開催する。(必要により、臨時理事会を開催する。)
- 年2回機関紙「柏」を発行する。(HPにも掲載)
- 母校の「柏苑祭」に参加し、同窓会賞を贈呈する。
- 母校の「キャリアスタディ」に協力する。
- メールマガジンを随時発行する。
- 会員の親睦を図る企画を立案し実行する。

2017年度(2017年4月1日~2018年3月31日)予算案

収入の部

科目	予算額	内訳
入年会費	2,240,000	64期生224名
引継金	3,000,076	前期より
キャリアスタディ	1,300,000	
雑収入	300,000	成人の祝い参加費(50名)
合計	6,840,076	

支出の部

科目	予算額	内訳
会議費	300,000	理事会7回
交通費	50,000	
総会費	50,000	
「柏」制作費	30,000	編集委員会2回
通信費	49,000	柏65,66号(@82×250通)他
印刷費	250,000	柏65,66号各1,000、700部他
発送アルバイト費	6,000	柏65,66号(250通)
事務局費	30,000	
事務局活動費	70,000	
同窓会賞費	10,000	
小委員会費	200,000	
名簿整備費	50,000	
柏苑祭費	75,000	
HP制作費	50,000	
会員交流補助費	1,250,000	成人祝い(@6,000×75名=450,000を含む)
キャリアスタディ	1,300,000	
特別講演会費	500,000	
予備費	100,000	
繰越金	2,470,076	
合計	6,840,076	

◆報告事項

- 徳山長生理事及び渋谷重彦理事を退任とする。
- 小林隆之氏(37期生)を理事とする。
- 大高慧史理事を副会長とする。
- その他理事の役職及び担当変更(理事名簿参照)
- キャリアスタディ報告

【予告】第43回総会及び懇親会について

日時：2018年5月26日(土) 16時~

場所：渋谷 エクセルホテル東急 6階 フォレストルーム

多くの方々参加をお待ちしております。詳細は、次号の「柏」でご案内致します。

なお、総会後の懇親会には、24期生の還暦の祝い及び63期生の成人の祝いを計画しております。

キャリアスタディ 2017

キャリアスタディ委員長 小泉 達雄 (22 期生)

2017年11月11日にキャリアスタディ発表会が開催され本年の活動を振り返りました。

本活動に関しては本校OBが講演会の講師である「業あり先生」と企業研修のコーディネーターとして携わっております。

本年度は、生徒が約80人増加したため、研修先の確保に苦労いたしました。

新たにNHK (山下博一さん)、中日本高速道路、首都高速道路 (中村徹さん)、かねこ琴三弦楽器店 (金子政弘さん)、ドカティジャパン (木下弘さん) に加わっていただいたり、一部の企業様には複数回お願いしてなんとか対応することができました。

ここで改めて皆様のご協力に感謝申し上げます。

さて本年度の生徒についてですが、コーディネーターの皆さんからはコミュニケーションが、上手にとれる生徒が多かったと聞いております。私自身も担当の班長さんが大人と同じような電話対応が出来ることにちょっと驚かされました。

また全体として目的意識が高く、既にやりたい仕事を決めている生徒も何人かおりました。

発表会においては、研修先の企業の課題を的確にとらえた素晴らしいプレゼンテーションもおこなわれました。

生徒たちが自分の将来の事についてこのように色々考えて話せるようになったのは、

我々OBが多く時間を割き積み重ねてきたことが徐々に結実してきたのではないかと大変嬉しく思っております。

今後とも後輩育成のため皆様方の積極的なご協力をお願いいたします。



小泉キャリアスタディ委員長の挨拶

理事会報告

事務局長 佐々木 幹夫 (14期生)

理事会は、年間定例会を2ヶ月に1回で計6回及び

必要により臨時会を開催しております。

理事会では、毎年実施しているキャリアスタディへの協力準備や柏苑祭、総会及び同日に実施する懇親会・成人の祝い・還暦祝いの準備並びに同窓会誌「柏」の編集及び年間予算の会計の検討や確認を行っています。

そのほか、随時講演会などを実施したり同窓会活動の活性化方法の検討を行ったりしています。

これらの活動は、全て会員の会費により運営されています。

この会費は、在校生全員が学校に積み立てており、高校卒業時に同窓会に加入した方の分が、終身会費として学校より同窓会に一括して渡されます。

このことから、卒業生は自動的に同窓会に加入することが可能ですが、現在は学校の方針で任意加入となっており、残念ながら毎年若干名が未加入です。

理事会は、当然、全員加入を目指していますが、会員の方々も折に触れて在校生への加入の働きかけにご協力いただければ幸いです。

なお、同窓会の永続性確保のためには理事の若返りも今後の課題として浮上してきております。今後とも同窓生の皆様には同窓会活動にさらに関心を持っていただき、ご協力をお願いいたします。

編集後記

今年も、同窓会への入会者ほぼ100パーセントと好調で、同窓会活動への理解が浸透しているように思います。学校のキャリアスタディ・プログラムへの協力で「業あり先生」や夏の「企業研修」でOBの企業でのOBによる企業説明や働くことの意味、どうせやるなら好きなことを仕事にした方が良い、その為に今、何をすべきかを考えさせ、目的を達成するために、どうしたら良いのかのアドバイスを先輩として後輩に伝える良い機会と信じてます。また、それが母校の特色にもなってきています。OBの皆様、母校への協力、感謝申し上げます。今年から、予算も基金の費目を設立し貢献しようという運びになりました。同窓会主催の還暦や成人の祝い (例年、5月の総会・懇親会) も大勢の方に参加して頂き嬉しい限りです。来年も5月26日 (土曜日) に行う予定です。皆さんの参加をお待ちしています。柏苑祭での退任先生による講義、今年は「柿下先生」にお願いして頂き、来年は「伊藤先生」に決まっているそうです。楽しみにしています。いつも「柏」の編集をしていただいている青木理事が体調がおもわしくないということで編集委員経験者である清水理事に編集をお願いする運びになりました。同窓会も小林37期生にキャリアスタディ委員会の経理をして頂いたりして充実しつつある段階です。これからの若い人の参加に多に期待しています。(会長 安藤友二)